

軍言(草案)

吾等は茲に我國民の大多數を占むる労働者、農民、俸給生活者、小賣商人及び自由業者等の利害を代表し、過去半世紀に亘り日本の政權を壟斷したる貴族、閥族、地主、資本家及び之等特權階級の傀儡たる一切の既成政黨に對して生存權確立の戦を宣するものである。

既住の政治は其内族の爲す所と政黨者流の爲す所とを固はず、等しくニ少數特權階級の利害を以て本とするものであり、従つて其政争は同一特權階級の間に於ける新舊勢力の暗闘に過ぎなかつた。彼等は政黨黨として相對立し、國民の實生活上基論したる具體的の主義、政綱を掲げて相争ふべき何等の理由をも有せざる黨同閥異の輩であつた。故に彼等は慢然として國民利權を云ひ、是を非々を云ひ甚しきに至りては偷權連徳を以て政黨の標幟をなし、以て其本體を飾りし以て國民を欺瞞せんとした。吾等は現政黨は其利益の一切の醜狀陋態を以て同一特權階級の間に於ける開卷の利權争奪に在りとし、大多數無產階級の利害を代表するべき。

今や國民多年の希望は實現し、普通選挙の實施は眼前に迫りつつあり、國民の大多數は政治の解放と國家の主要成分として少數特權階級の争ひから政治の解放と國家の主要成分であり、社會の運動力である。民衆自身の政治を確立すべし。時を待たず、急務は國體の改むる一切の手段を盡して社會黨の根本原因である惡法非制を改革し、以て社會的正義の觀念と基く健全なる國民政治の樹立に向つて直接邁進せんとして、これ吾等が廣く天下に激し一切の勤勞無產階級を叫合して一大政黨を結成せんとする所以である。今や我國の勤勞無產階級は都市農村を通じて一齊に覺醒し、大多數國民の利害を以て基調とした公明正大なる政治の樹立を懸望しつゝある。此時に際し吾等は時勢の要求に應じ、爲し社會黨を組織し、一切の勤勞無產階級に對し、内戸を解放する。苟も吾等と志を同じゆし希望を共にす。ものほ其職業境遇の如何に不拘ず、来つて我等と共に對時代的運動の大成に協力せよと敢て宣す。